

令和5年度 公立学校教職員定期人事異動について

＜資料＞	ページ
1 令和5年度公立学校教職員定期人事異動について.....	1
2 令和5年度公立学校教職員定期人事異動数.....	4

[担 当]

学校企画課 企画人事スタッフ

〈県立学校関係〉 伊藤 康子 22-5411

〈市町村立学校関係〉 和田 正利 22-6671

令和5年3月22日
島根県教育委員会

令和5年度 公立学校教職員定期人事異動について

令和5年度島根県公立学校教育職員等の人事異動方針に基づき、本県教育の充実向上のため、全県的な視野から適材を適所に配置することとし、市町村立学校教職員 1,355名〈1,416名〉、県立学校教育職員 486名〈487名〉、計 1,841名〈1,903名〉の定期人事異動を行う。

その概要は次のとおりである。

※ 異動種目：退職、辞職、昇任、転任・転補、採用、兼職

※ 〈 〉：令和4年度の数值

1 管理職人事について

(1) 市町村立学校

① 校長の異動数は、令和4年度並。教頭の異動数は、令和4年度に比べて定年退職者が減少したことなどから減少。

- ・ 校長の異動 174名〈172名〉〔うち、定年退職59名〈59名〉、昇任34名〈38名〉〕
- ・ 教頭の異動 126名〈139名〉〔うち、定年退職6名〈18名〉、昇任37名〈42名〉〕

※管理職としての再任用（令和4年度から導入） 32名〈21名〉（上記の外数）

- ・ 校長 22名〈11名〉〔小学校14名〈9名〉、中学校8名〈2名〉〕
- ・ 教頭 9名〈8名〉〔小学校6名〈6名〉、中学校3名〈2名〉〕
- ・ 主幹教諭 1名〈2名〉〔小学校1名〈1名〉、中学校0名〈1名〉〕

② 女性管理職（校長・教頭）は、管理職574名中89名（15.5%〈15.3%〉）

(2) 県立学校（松江市立高校派遣を含む）

① 校長の異動数は、令和4年度より増加。教頭の異動数は、令和4年度並み。

- ・ 校長の異動 45名〈27名〉〔うち、定年退職13名〈10名〉、昇任14名〈7名〉〕
- ・ 教頭の異動 31名〈35名〉〔うち、定年退職2名〈3名〉、昇任17名〈11名〉〕

② 女性管理職（校長・教頭）は、管理職111名中25名（22.5%〈19.8%〉）

2 一般教職員人事について（主な加配等）

(1) 市町村立学校

① 少人数学級編制 ※県単独

- ・ 少人数学級編制等に伴う加配教員数 92名（予算措置上）
- ・ 課題解決・制度改正対応加配教員数 40名（予算措置上）（令和4年度 20名）

少人数学級編制基準（ ）は国の学級編制の基準

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R2年度	30 (35)	30 (35)	35 (40)						
R3年度	30 (35)	32 (35)	35 (40)	35 (40)	35 (40)	35 (40)	35 (40)	35 (40)	38 (40)
R4年度	30 (35)	32 (35)	35 (35)	35 (40)	35 (40)	35 (40)	35 (40)	38 (40)	38 (40)
R5年度	30 (35)	32 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (40)	35 (40)	35 (40)	38 (40)	38 (40)
R6年度	30 (35)	32 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (40)	35 (40)	38 (40)	38 (40)
R7年度 ～	30 (35)	32 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (35)	35 (40)	38 (40)	38 (40)

② 学校の課題に対応する加配の充実

- ・ 教科担任制（専科指導）のための加配：令和4年度より7名増加、85名を配置
- ・ 通級指導のための加配：令和4年度より9名増加、109名を配置
(これにより、全19市町村で通級指導教室を開設)
- ・ 日本語指導のための加配：令和4年度から増減なし、17名を配置

(2) 県立学校

① 普通科高校への主幹教諭加配 ※県単独

- ・ 普通科高校21校に21名を継続配置

② 専門高校への数学・理科教員加配 ※県単独

- ・ 専門高校5校に5名を配置。非常勤講師を2校に2名配置

③ 普通科高校における情報教育充実のための教員加配【新規】 ※県単独

- ・ 複数の高校を兼務する情報教員3名を配置（さらに1名の配置を検討中）
- ・ 別途、プログラミングなどの専門的指導のための非常勤講師を配置

④ 高校における通級指導のための教員加配

- ・ 自校通級4校（松江農林、宍道、掛合分校、邇摩）に計5名を配置（宍道2名）
- ・ 通級指導拠点校方式センター校5校（松江北、出雲、浜田、益田、隠岐）に各2名、計10名を配置

- ⑤ 高校における生徒の進路保障や多様な教科・科目の選択を実現するための教員加配
 - ・ 中山間地域・離島の高校へ、次の教科の配置を継続
芸術4名、地理歴史3名、理科3名（計10名）
 - ・ 複数の高校を兼務する芸術教員の配置を継続（計8名）
- ⑥ 日本語指導が必要な生徒へ対応を行うための教員加配
 - ・ 宍道高校に1名を継続配置（別途、日本語指導のための非常勤講師も配置）
- ⑦ 島根かみあり国スポに向けた競技力向上のための教員加配【新規】 ※県単独
 - ・ 競技力向上のために必要な教員を5名配置
- ⑧ 特別支援教育充実のための加配【新規】 ※県単独
 - ・ 出雲養護学校に、分教室組織体制強化のための主幹教諭1名を配置
 - ・ 松江養護学校に、「乃木校舎特別加配」として教員1名を配置
 - ・ 特別支援学校の寄宿舎における食育推進のため、松江ろう学校に寄宿舎指導員1名を配置
 - ・ 隠岐島前地区の特別支援教育充実に向けた検討を行うため、隠岐養護学校に非常勤講師を配置（特別支援コーディネーターの負担軽減）

3 新規採用について

総数 289 名（290 名）を新規採用した。内訳は下記のとおり。

教諭 … 小学校 135 名（144 名）、中学校 75 名（71 名）、義務教育学校 4 名（3 名）、
高等学校 27 名（29 名）、特別支援学校 21 名（20 名）

養護教諭 … 11 名（12 名）

栄養教諭 … 1 名（1 名）

実習助手（県立学校） … 6 名（2 名）

事務職員（市町村立学校） … 9 名（5 名）

